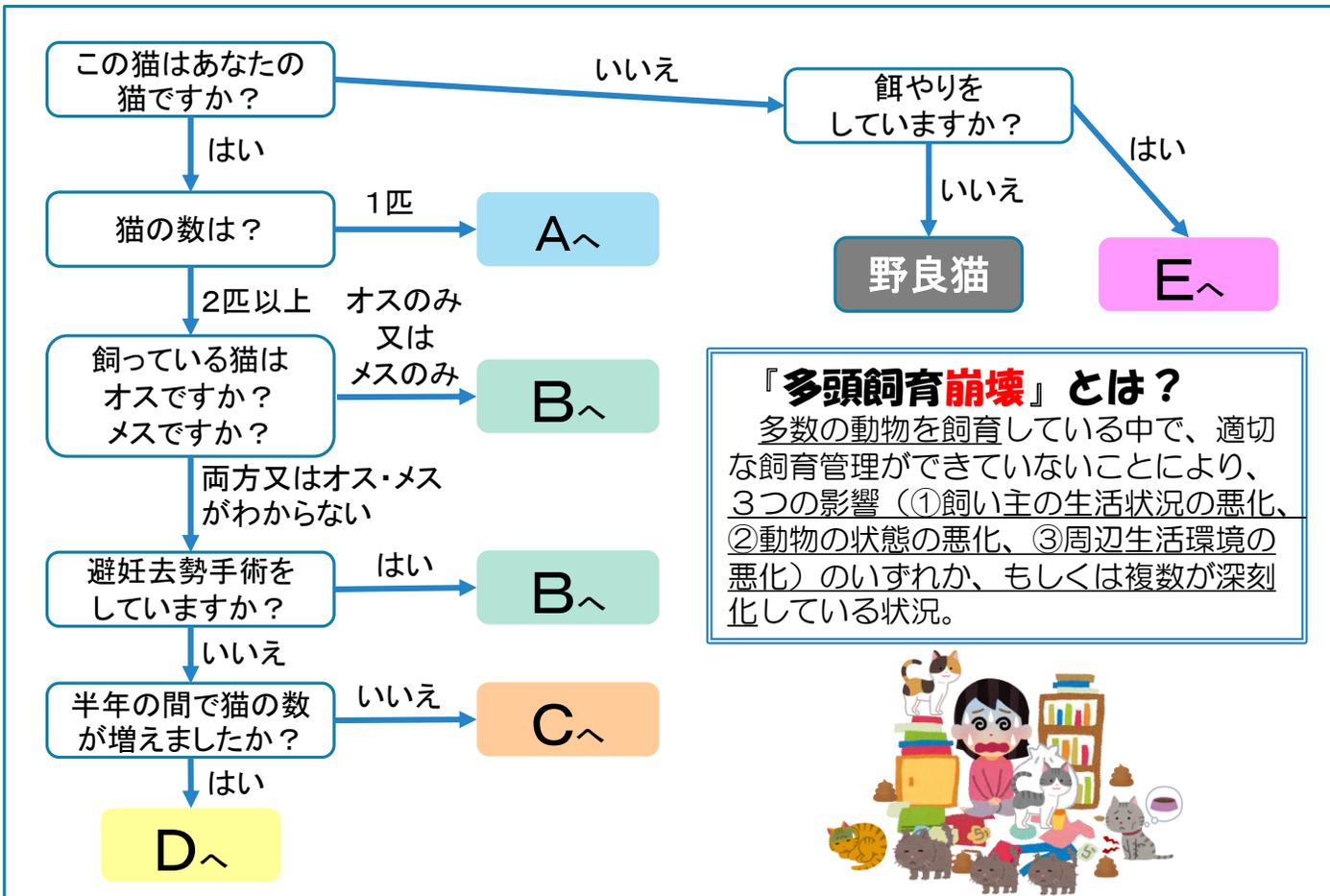


多頭飼育崩壊危険度チェックリスト



このフローチャートを使うことで、多頭飼育崩壊危険度を確認しましょう。
崩壊となる手前で進行を止めるための啓発や関係機関に相談することが大切です。



『多頭飼育崩壊』とは？
多数の動物を飼育している中で、適切な飼育管理ができていないことにより、3つの影響（①飼い主の生活状況の悪化、②動物の状態の悪化、③周辺生活環境の悪化）のいずれか、もしくは複数が深刻化している状況。



A: 崩壊危険度低

→①のチラシを配布
※避妊去勢手術をしていない場合は、外に出た時に妊娠する(させる)可能性があるため、手術を勧めてください。

B: 崩壊危険度低

→①のチラシを配布
※継続して見守りをお願いします。

C: 崩壊危険度中～大

→①と②のチラシを配布
※猫の管理ができなくなると爆発的に増える可能性大。避妊去勢手術を勧めてください。他で産んでいたり、飼い主が頭数管理できていない場合があるので、定期的な見守りをお願いします。

D: 崩壊危険度大

→①と②のチラシを配布
※放っておくと多頭飼育崩壊につながります。避妊去勢手術を勧めるとともに、現状確認、飼い方指導が必要になりますので、末尾連絡先に御相談ください。

E: 所有者のいない猫が増える危険度大

→①②③のチラシを配布
※避妊去勢手術をしていない野良猫が爆発的に増える可能性大。場合によっては指導が必要になりますので、末尾連絡先に御相談ください。

※配布いただくチラシの種類(県HPに掲載中)
①猫を飼うなら徹底4か条
②猫の避妊去勢手術はなぜ必要なの？
③飼い主のいない猫の避妊去勢手術を無料で実施します

【連絡先】熊本県動物愛護センター「アニマルフレンズ熊本」相談窓口

TEL:0964-27-8115